

溶んだ壁

第62号
平成28年12月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

人権文化をすすめよう！ 人権週間 十二月四日～十日

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重することを、自然に感じたり、考えたりの行動することが「当たり前」になった生活をいいます。

「すすむしさんありがとう」

すすむしを五ひきくらいもらいました。いとこともってかえって、すすむしがなくのをまちました。かわいくてきれいななぎごえで、うれしいきもちになりました。かぞくみんながにっこりわらいました。つぎのひ、おかあさんがあたらしいなすびをきって、すすむしにあげました。おみずもあげました。すすむしはまた、リンリンなきはじめました。二、三にちかわいいななぎごえでかぞくをえがおにしてくれました。

つぎのひ、いえにかえるとすすむしがいませんでした。おかあさんにきくと、「にがしたよ。」

といました。わたしはかなしいきもちになりました。おかあさんが、

「すすむしさんもあなたといっしょで、いのちがあるからね。もうじゅうぶんだのしませてもらったからしぜんにかえしてあげようね。」

といました。
すすむしさん、
ありがとう。

(小学1年生)



「あいさつの大切さ」

ぼくの通う学校では、あいさつをどうしています。

高学年のお兄さん、お姉さんたちが校門の前で立っておおきな声であいさつをしています。ぼくは、せいしょはすかして、あいさつができませんでした。でも、かおがにこにこするようになった。

ぼくのすすむしは、つうがくろに見守りのおじさんが立ってくれています。おじさんは、毎日大きな声であいさつしてくれます。ぼくもしぜんとあいさつができるようになった。はすかしさもなくなりました。

今では、校門前であいさつしてくれています。



るお兄さん、お姉さんにもしぜんにあいさつができるようになりました。これからもじぶんからすすんであいさつをしていきたいです。

(小学2年生)

「ぼくのひいおばあちゃん」

ぼくのひいおばあちゃんは、八十四才です。心ぞうのしゅじゅつをしてから車いすをつかっています。少しは歩けますが、すぐにむねがくるしくなるのか、「ハー」と言います。かわいそうになります。だからぼくは、ひいおばあちゃんのために、「ミミ出しのお手つだいをしています」。

市の緑色の「ミミ」のぶくろをしゅうしゅう場所まで持って行きます。

ひいおばあちゃんに、長生きしてもらうために、お手つだいをいっしょうけんめいしたいと思います。

(小学3年生)

「いもほり」

今日いもほりをしました。ようち園の子も来ました。

いもほりの時、ようち園の子が「こぼって。よあっちほってー！そっちもー！」と言って大変だったけど、班の2年生の子が手伝ってくれて、とても助かりました。とても大きなおいもがあって大変だったけど、ようち園の子たちと2年生の子たちが手伝ってくれて、大きなおいもが取れました。大変だったけど、とても楽しいいもほりでした。

ようち園の子たちが、来年、1年生になった時には、私が6年生なので、優しい言葉をかけて、みんなが笑顔になる楽しい学校にしていきたいと思います。

(小学5年生)



「運動会」

私は、楽しかった。

六年間運動会で勝ったことはなかったが、今までで一番楽しかった。みんなと一緒に応援したり、本気で「演技をやったり。負けてしまったって少し悔しかったけど、とにかく楽しくて仕方なかった。

一番楽しかったのは、やっぱりリレーかなと思った。本気で走るのってやっぱり気持ちいいって思った。

最後の紅白対抗リレーでは、私はゴールテープ係をやった。アンカーのときは、思わず、

「がんばれー！」

と、言ってしまうほどだった。

とっても感動した。

とってもすてきで楽しい思い出になった。

やっぱり楽しかった。



(小学6年生)

「ありがとう」は魔法の言葉

道徳の授業で「ありがとう」という言葉についての感想を書く機会がありました。まず、最近どんな時に言ってもらったかというところライやるウィークで老人ホームの利用者の方の髪をドライヤーで乾かしたり、お菓子を配ったりした時に「ありがとう」と言ってもらいました。また、あまりうまくしゃべれず、手もあまり動かない方の食事の補助をした時に声には出ていないけれど「ありがとう」と言ってもらいました。その時、私はとてもうれしかったです。

小学校の時に、「ありがとう」は魔法の言葉」ということを学びました。正直、当時は気にもとめず、その話を流して聞いていただけで、今回は実話に基づく話を聞いて、本当に魔法の力をもっているんだなあと思いました。

先生がおっしゃったとおり、一回腹が立った時に、「ありがとう」と心の中で言ってみようと思います。また、たとえ小

さなことで、誰に対しても「ありがとう」と言ってみようと思いましたが、自分にとって、「ありがとう」という言葉は、言ってもらったらどんなことでもうれしいので、相手にもうれしいと思ってもらえるよう、「ありがとう」と言おうと思います。

(中学2年生)



「思い出に残った運動会」

一番がんばることのできた演技は、クラス全員でするリレーとムカデ競争です。そして、マ스ゲームです。どの演技でも、全員が「入院中のクラスメイトと一緒に戦い、優勝する」そんな気持ちでやってきたからこそ、思い出に残る最高の運動会になったのではないかと思います。

でも、一つ悔いが残っています。それは、スウェーデンリレーです。アンカーという大役を任せてもらい、みんなから期待して

もらっていたにも関わらず、三位になってしまいました。チームにどんなアクシデントがあろうと、一位で帰ってくるのがアンカーの役目だと思っていました。しかし、生徒テントに戻ったとき、責めるのではなく、励ましてくれるクラスメイトのおかげで、少し気が楽になりました。

いつでも支えあうことのできるこのクラスが、本当に大好きです。優勝することができず、すごく悔しいですが、クラスの一人として最後の運動会をすることができ、最高の思い出になりました。

(中学3年生)

「インターシップ」

今回、僕は佐和鍍金工業株式会社に行かせていただきました。今まで鍍金会社に関わったことがなく、仕事内容も全くわからなかったため、知るにはよい機会だと思いました。

仕事内容は銅とニッケル



の鍍金加工をすることでした。担当の方も優しく、一つ一つの作業について細かく教えていただきました。

他には、空箱の整理や捺印、釘の仕分け作業、ドラム缶の油ふきをしました。また、品物を串に刺す作業と吊す作業をしました。串に刺す方向を間違えてしまい、一からやり直したので大変でしたが、担当の方に優しく助けていただきました。

今回の体験で、鍍金加工について多くのことを学ぶことができました。この五日間で、新たな目標をもつことができ、充実した時間を過ごすことができ、本当によかったです。

(高校2年生)

「怪我をして気づいたこと」

私は一年生の最後にバイク事故に遭いました。その事故で大けがをしてしまい、入院することになりました。首の骨を折ってしまいましたが、神経に異常はなく

てよかったですと思っています。

一日中、病院のベッドの上で天井を見て過ごすだけの日々が続いて、とてもつらい気持ちになりました。だけど、友だちがお見舞いに来てくれて、とても気持ちが楽になりました。私はそのとき、友だちは大事な存在だと改めて気づきました。

ちょうど私が事故をした時期が、進級試験を病院で受けることになりました。先生方は、私のためにテスト対策のプリントを作ってください、本当に感謝しています。

私は、二年生に進級するために、夜遅くまで勉強しました。そして、私は、進級することができました。私は、いろいろな人に支えられていると気づきました。今度は、自分が人の支えになれるようになりたいと思います。

(高校2年生)



「人権ふれ愛コンサート」

日時 12月3日(土) 14時20分開演

会場 扶桑電通なぎさホール

(相生市文化会館 大ホール)

内容 「ESPERANZA(えすぺらんざ)さん」によるコンサート

入場無料

「愛と言う名の奇跡」

「難病・ひきこもりを乗り越えて

光りのステージへ」

平成28年度人権ポスター特

選作品を会場入口に展示

ます。



家庭対話ウィーク

12月4日(日)～10日(土)

心と心を受けとめ合う会話、

肌と肌で感じるぬくもりのあるふ

れ合い。安心して、お互いの気持ちを話し合

う場所が家庭です。話をゆっくりと聞き合

う機会が少なくなってきたと言われます。

家庭は人権文化の最前線とも言われます。

あたたかい家族の関係をみんなで育んでい



